



上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)および鎮静剤使用の説明書

検査目的

胃カメラを用いて食道、胃、十二指腸を観察し、潰瘍、がん、炎症などを発見するのが目的です。

検査方法

鼻もしくは口から胃カメラを挿入し、食道、胃、十二指腸を観察します。

必要に応じて胃腸の動きを抑える薬を注射することもあります。

病気があれば、青い色をつける検査や、組織を顕微鏡で見る検査を追加します。

偶発症

偶発症で重要なものは、薬剤によるショック、出血、穿孔(穴が開くこと)です。

①咽頭麻酔薬や鎮痙剤によるアレルギーやショックなどの偶発症は

0.00055%(100万人に5.5人、死亡例もあり)ときわめて少ないですが報告されています。

②出血や穿孔などが0.005%(10万人に5人)、死亡例は100万人に1.9人の頻度と報告されています。

血をさらさらにする薬は継続してください。

休薬した場合のリスクの方が高いと現在考えられています。

鎮静剤に関して

静脈から軽い麻酔剤を入れ、検査中の苦痛を幾分緩和した状態で検査を行います。

検査後1時間程度ベッドで休んでいただきます。従って、以下の注意事項をお守りください。

1)検査後、車の運転や急ぎの予定などを入れない。

2)麻酔剤による副作用

①精神神経系(めまい、脱力感、幻覚、興奮、傾眠、頭痛)

②循環器系(血圧低下、血圧上昇、不整脈)

③呼吸器系(無呼吸、呼吸抑制)

④過敏症(アナフィラキシーショック、発疹、発赤) など

ご注意

①午前中検査の方は、検査前日の夕食までは普通にとり、夜10時以降は何も食べないでください。

②午後検査の方は、検査当日の朝食を朝7時までに軽くとってください。それ以降は何も食べないでください。

★水、色のついていないスポーツドリンクは、夜10時以降も制限はありませんので、自由にお飲みください。

検査当日の朝も水、色のついていないスポーツドリンクは飲んでいただいて結構です。

★薬は、起床時に多めの水で飲んでください。糖尿の薬はやめてください。

★検査当日は鎮静剤を使用するため、必ず公共交通機関を使用してご来院ください。

検査当日、都合が悪くなられた場合は連絡してください。
その他わからないことがあれば、問い合わせてください。

鼻カメラ []

口カメラ []

鎮静剤 [あり ・ なし]

ピロリ菌チェック希望 [あり ・ なし]

胃内視鏡検査(胃カメラ)の費用に関して

3割負担で計算しています。1割負担の患者様は3分の1程度です。経鼻、経口内視鏡ともに同料金です。
麻酔薬や鎮痙剤により多少変わります。

①観察のみ	5,000円前後
②観察および組織検査、病理検査	9,000円前後

検査時に採血や検査後のお薬の処方などある場合は、約14,000円程度ご用意ください。

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)および鎮静剤使用の同意書

上部消化管内視鏡検査および鎮静剤使用につき上記説明を理解しました。

その上で処置の実施を希望します。

尚、上記処置に当り、緊急の場合、または医学上の必要がある場合は、他の必要な処置も受けることに同意します。

年 月 日 患者氏名

かんだクリニック
院長 神田 啓太郎